

大阪 ぼしれん

発行所 社会福祉法人
大阪府母子寡婦福祉連合会

発行人 滝本 美津代
枚方市交北3丁目1番50号
電話 06(6748)0263
FAX 06(6748)0264
URL: <http://www.osakafu-boshiren.jp/bosh/>

11月号

(265号)

トピックス

- 1面・母子家庭母の集い
・要望書
- 2面・近畿・中部地区母子
寡婦福祉研修大会
・親と子の交流事業
・会員募集

令和7年

大阪府母子家庭母の集い

7月19日(土)大阪府母子・父子福祉センターに於いて「令和7年大阪府母子家庭母の集い」を開催しました。第1部では、各市町村から推薦された優良ひとり親家庭の母23名と父1名、永年勤続職員3名が理事長表彰を受賞しました。

その後、中学3年生と高校1年生の会員の子ども2名が家族への想いや、奨学金をもらえた事への感謝の気持ちを作文にして発表しました。

その後、母子部代表者がひとり親家庭や寡婦福祉の向上を図るため、府・市町村と国へ要望する「決議案」を提案し、参加者一同の賛同により採択され第1部が終了しました。



第2部では、大阪府ひとり親家庭生活向上事業として大阪府歯科医師会 常務理事 北垣 英俊氏を迎え『お口の健康を保つには～話す・食べる・笑う・楽しいことはだいたいお口から～』をテーマに講座があり、口腔ケアを子どものうちに習慣化する大切さや年齢別のセルフケアの方法を学びました。会場の参加者は、口腔機能訓練の「カタパラ体操」を笑顔で行いました。

最後に、リリーエコーの素敵な歌声と今日の日はさよならを全員で斉唱し、閉会となりました。

要望書

令和7年、大阪府母子家庭母の集いにおいて、ひとり親家庭及び寡婦福祉の更なる向上を図るため参加者一同の総意により次の事項を決議し、その実現を関係機関に強く要望します。

1. 府・市町村へ要望するもの
大阪府ひとり親家庭医療費助成制度については、親の健康が自立の基盤となることはもとより、将来を担う子どもの健全な育成を図るため、同居親族の所得要件を廃止し、本人のみの所得を基準とされたい。また、22歳までの大学生等とその保護者に対して、ひとり親家庭医療費助成制度延長を大阪モデルとして創設されたい。
2. 母子家庭の母等の雇用にあたっては、就業の支援に関する特別措置法に基づき自治体や地元企業で正規雇用の拡大を図るなど、正規雇用施策の積極的な取り組みを促進されたい。
3. ひとり親家庭の就業環境の整備を図るため病児保育・病後児保育を少なくとも中学校区に1カ所は実施し、利用方法も簡素化されたい。

4. 放課後児童クラブについては、高学年までの利用引上げを市町村において格差なく整備を図られたい。
5. ファミリー・サポート・センター事業を利用するひとり親世帯については、親の所得に応じて利用料金の軽減を図られたい。
6. 母子家庭の母等の雇用対策事業等として母子・父子福祉団体が運営する公共施設内等の売店や自動販売機の設置については「母子及び父子並びに寡婦福祉法」及び「特別措置法」の理念に基づき優先して許可されたい。
7. 貧困寡婦の生活安定対策として、ひとり親家庭を経たひとり暮らしの寡婦に対し、寡婦の医療費助成制度を創設されたい。

1. 国へ要望するもの
児童扶養手当制度については、生活実態に合わせて見直されたい。
2. 「母子家庭の母及び父子家庭の父の就業の支援に関する特別措置法」に基づき、雇用の拡大が図られるよう、雇用の制度化や地元民間事業者への協力要請など、積極的に正規雇用施策を講じられたい。
3. 養育費の支払いの義務を法律によって強化するとともに、国による養育費の立替え払い制度などを創設し、養育費の支払い履行を確実なものとされたい。
4. 「ひとり親家庭及び寡婦の医療費助成制度」については、自己負担額や助成内容が居住地にかかわらず格差のないものとなるよう、国による新たな助成制度を創設されたい。
5. 所得税・地方税において、扶養親族のいない生別寡婦や未婚の寡婦に対しても死別寡婦と同様の寡婦控除を適用されたい。

令和七年九月十七日

大阪府知事 吉村 洋文様
社会福祉法人 大阪府母子寡婦福祉連合会
理事長 滝本 美津代

要望

7月19日(土)「大阪府母子家庭母の集い」に於いて採択された決議を要望書とし、9月17日(水)大阪府知事に提出しました。

当日は、吉田福祉部長、福本子ども家庭局長、宿南子育て支援課長、他担当課に面会。連合会からは、滝本理事長、道利母子会長等6名が出席し、大阪府ひとり親家庭医療費助成制度やひとり親家庭の雇用について要望しました。詳細は右記のとおり。

大阪府からは、「長い目で見ていただく項目もありますが、出来る限り皆さんが安心して暮らせるような環境作りをしていきたい」とのお言葉をいただきました。



吉田福祉部長に要望書を手渡す滝本理事長

9/14

令和7年度 近畿・中部地区母子寡婦福祉研修大会

令和7年9月14日(日)クレオ大阪中央に於いて、約630名が参加し「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」をテーマに近畿・中部地区母子寡婦福祉研修大会を、当番団体として開催しました。

開会式の後、こども家庭庁による「ひとり親の現状」についての行政説明があり、その後コーディネーターに龍谷大学名誉教授 長上 深雪氏を迎え研修討議が始まりました。

6名のパネラーは、発表テーマである「目指そう自立、活かそう支援策」「未来へつなぐ、世代の輪」「すべての子どもに安心と希望を！」に沿って、それぞれの体験や思いを発表しました。発表後、4名の助言者とディスカッションを行い最後にコーディネーターの長上氏より「暮らしをよくするには、行政だけではなく当事者の皆さんが手を合わせて今の状況を変えないといけない。支援のメニューはたくさんあるが、それを多くの方が知り利用に繋がるよう、母子寡婦福祉団体として発信すること。子どもの声、会で成長した若者の声を聴く機会を設けられたら良いと思う。」とアドバイスをいただき締めくくりとなりました。

決議・大会宣言と満場一致で採択後、大阪市の北会長が令和8年度の近畿・中部大会は9月13日(日)に大阪で開催することを伝え閉会となりました。

この近畿・中部地区母子寡婦福祉研修大会は、社会福祉法人大阪府共同募金助成金を受けて実施いたしました。



令和7年度 ひとり親家庭 親と子の交流事業

8/3

『カワサキワールドと須磨シーワールド』

8月3日(日)真夏の太陽が照りつけ、立っているだけでも汗が流れ出すほどの酷暑の中、バス3台、総勢118名で兵庫県カワサキワールドと須磨シーワールドへ行ってきました。

最初の目的地、神戸メリケンパークにあるカワサキワールドでは、川崎重工が作ったオートバイや新幹線、飛行機など実際に触れたり、運転シュミレーターで遊べたりと子どももお母さんも夢中でした。また、ロボットアームの操作ができ、ロボットを作りたいという夢を持っているお子さんは、夢に向かって勉強を頑張ると決意していました。



昼食は、ステーキランド神戸店で鉄板焼きに舌鼓を打ちました。目の前でステーキを焼いてもらうのが初めてのお子さんも多く、わくわくと緊張の入りまじったランチタイムとなりました。

腹ごしらえが終わり次の目的地、須磨シーワールドへ行きました。イルカやオルカのショーでは想像以上の迫力があり、ジャンプするたびにキャーキャー大きな歓声と拍手をし楽しんでいました。子どもたちはもちろんお母さんも良い笑顔で、日ごろの忙しさを忘れリフレッシュしながら過ごされていました。色々な体験ができ、美味しいお食事もし、楽しい夏休みの思い出ができた日帰り旅行でした。



会員募集中！

ホームページをご覧ください！

各市町村に母子会があり、それぞれ独自にいろいろな交流事業等を実施しています。

大阪府母子寡婦福祉連合会ホームページでは、ぼしれんの活動内容として、各市町村の母子会活動内容がご覧いただけます。

母子会に入会して、一緒に活動してみませんか？入会希望の方は連合会ホームページから申込みできます。

ぜひ、お住いの市町村の活動内容をご覧いただき、行事等の参加をお待ちしています。

共同募金

赤い羽根募金

10月1日～12月31日

大人が変われば、
子どもも変わる。



大阪府・青少年育成大阪府民会議

まだ11
月分は
秋の
間
も

社会福祉法人 大阪府母子寡婦福祉連合会

〒537-0025

大阪市東成区中道1丁目3番59号

大阪府立母子・父子福祉センター内

TEL 06-6748-0263

FAX 06-6748-0264

URL <http://www.osakafu-boshiren.jp/bosh/>



ぼしれん
ホームページ
二次元コード



ぼしれん
Instagram
二次元コード